

## 全国から11・3日比谷に結集を

### 反戦を闘う真っ当な労働組合の登場を！



集会が貫徹されたことを報じた地元のテレビ

#### ヒロシマつぶしと軍都広島復活の 攻撃うち破った8・6早朝の闘い

福井利明 (自治労広島市職員組合前委員長)

8・6「ヒロシマを闘い抜いた自治労広島市職員組合の福井利明前委員長のスピーチを紹介します。11・3労働者集会では広島からの発言も予定しています。日比谷野音にぜひ結集してください。

8月6日の朝、広島原爆ドーム前の闘いは何であったのか。日本、いや世界のヒロシマがどうなるのかの決定的闘いであり、私たちはそれに打ち勝つたと言えると思う。

松井広島市長は被爆者団体などにまったく相談することもなく、5月7日に一方的に平和公園北側に位置する原爆ドームを含む平和公園全体を「式典会場」とし、だから拡声器

はもちろんゼッケンやハチマキ、タスキも持込禁止と発表した。これでは事実上の集会禁止である。

例年、「式典会場」は平和公園の南半分であり、今回のようなことは初めてである。ようするに平和公園内から反戦反核の市民の訴えを締め出し、岸田首相(当時)や米国をはじめG7の言うことを「静かに」あげたく聞いておけばよいとの被爆者不在の「平和式典」にしたかったのである。もっと直截に言えば反戦・反核のヒロシマをつぶし日本会議などが夢見る「軍都広島」の復活をまくらんだと言ってもいい。

#### 被爆者の怒りと結びつき

しかし、長年被爆者をはじめ多くの個人・団体が反戦・反核を訴えて

#### 11・3全国労働者総決起集会

11月3日(日) 正午 日比谷野音楽堂  
午後3時 改憲阻止! 1万人行進 (東京駅へデモ)



きたヒロシマである。被爆者先頭に多くの人が抗議の声をあげた。

日本ジャーナリスト会議広島支部は「表現の自由」の観点から集会禁止反対の緊急集会を、ジャーナリストの浅野健一氏は集会禁止の「理由」として「暴力行為等処罰に関する法律」による5人の逮捕がいかにデタラメであるかの学習会を、いずれも広島弁護士会館で開催した。

広島市は追い詰められる中で、「集会禁止には法的根拠はない」と言わざるを得なかったのである。

実際、憲法21条「集会の自由」及び地方自治法244条2項「公園の自由使用の原則」から見ても、松井市長の主張には無理があった。にもかかわらず、8月6日、原爆ドームを封鎖し、集会を禁止しようとした。これに対し、被爆者の怒りと結び

つき全国の学生、労働組合などの仲間が前夜からの座り込みも含めて集会を成功させた。

広島市及び広島県警は、ひたすら「退去を警告する」と叫ぶのみで一人の逮捕者も出さずにやり切った。「安らかに眠って下さい。過ちは繰り返させぬから」という原爆慰霊碑の誓いを守り抜いたのである。

しかし、松井市長は恥知らずにも退去命令違反で5万円の過料を通告してきた。これには裁判闘争も念頭に徹底的に闘うつもりである。

#### 反戦を高々掲げ11・3へ

今回の闘いの中軸には動労千葉、関西生コン支部、港合同の3労組をはじめ、真っ当な労働組合の結集が大きかった。政府・自民党に賃上げをお願いし、ストライキを死語とするような連合はまさに現代版大政翼賛会であり、奴隷頭と言っほかない。来る11月3日には東京・日比谷野音において、3労組主催で反戦を高々と掲げた全国労働者総決起集会が開催される。広島からも多くの仲間が参加する予定である。中国侵略戦争を念頭にいたアジア版NATOなどをいう石破新政権に対し連合に代わる反戦を訴える真っ当な労働組合をしっかりと登場させよう。

